

第 46 回「山形県内企業の景気動向調査」速報

(平成 28 年 2 月調査)

～業況は 3 期連続で悪化～

【 調査の要旨 】

- **県内企業の業況**は、自社の業況判断を示す「自社の業況DI値(前年同期比)」が▲13.1(前回調査比 2.5 ポイント下落)と **3期連続で悪化**した。「各種DI値(前年同期比)」をみると、「売上高」「営業利益」が改善したものの、「人員・人手」「資金繰り」は悪化となった。ただし、「売上高」「営業利益」とも改善したものの依然としてマイナスで推移しており、さらに「自社の業況DI値(前年同期比)」は平成 26 年 8 月調査以降マイナスで推移していることから、業況について慎重な見方が続いているものと考えられる。
- **業種別**に「自社の業況DI値(前年同期比)」をみると、建設業が▲25.5(前回調査比 0.8 ポイント下落)、製造業が▲10.7(前回調査比 1.3 ポイント上昇)、卸・小売業が▲19.4(前回調査比 5.7 ポイント下落)、サービス業が 3.0(前回調査比 6.3 ポイント下落)と、建設業がほぼ横ばい、製造業が若干改善となったものの、卸・小売業、サービス業については大幅悪化となっている。要因として、消費税増税以降の需要の低迷などが考えられる。
- **地域別**に「自社の業況DI値(前年同期比)」をみると、村山南部が▲6.3(前回調査比 4.1 ポイント上昇)、村山北部が▲3.5(前回調査比 0.1 ポイント下落)、最上が▲33.4(前回調査比 13.4 ポイント下落)、置賜が▲10.7(前回調査比 1.8 ポイント上昇)、庄内田川が▲24.7(前回調査比 6.8 ポイント下落)、庄内飽海が▲9.5(前回調査比 5.1 ポイント下落)と、**村山南部、置賜で改善**したものの、**村山北部でほぼ横ばい、最上、庄内田川、庄内飽海で悪化**となった。
- **先行き見通し**は「自社の業況DI値」が▲19.9(今回調査比 6.8 ポイント下落)と**さらに悪化**の見込みとなり、先行きへの不安感が強まっている。

【特別調査】

- **雇用調整**について尋ねたところ、「残業規制」が 25.9%(昨年比+2.5%)、「ワークシェアリング」が 12.6%(昨年比+2.1%)、「従業員の削減」が 5.8%(昨年比+0.4%)と、すべての項目で昨年に比べて実施企業の割合が上昇した。
- **新卒者の採用状況**について尋ねたところ、採用すると答えた企業の割合は、全業種で見ると 42.3%(昨年比+1.7%)と若干上昇した。

平成 28 年 3 月

株式会社 フィデア総合研究所

目次

I. 県内企業の業況	1
1. 概況	1
2. 業種別の動向	2
(1) 業種別の概況	2
(2) 業種別 D I 値の動向	3
① 建設業	3
② 製造業	4
③ 卸・小売業	5
④ サービス業	6
3. 地域別の動向	7
(1) 地域別の概況	7
(2) 地域別 D I 値の動向	8
① 村山南部	8
② 村山北部	9
③ 最上	10
④ 置賜	11
⑤ 庄内田川	12
⑥ 庄内飽海	13
II. 景気の天気予報図	14
III. 特別調査	15
1. 雇用調整について	15
2. 新卒者の採用状況について	16
<参考資料 I : 地域別・業種別回答率>	17
<参考資料 II : 調査の概要>	17

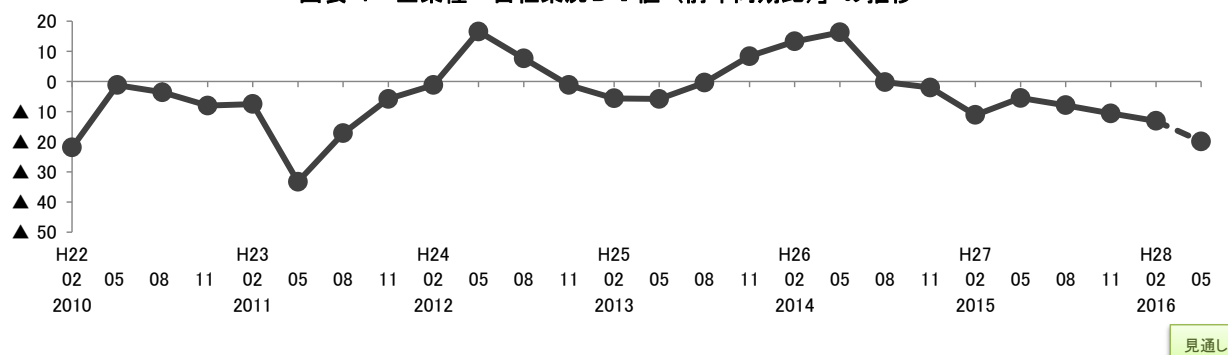
I. 県内企業の業況

1. 概況

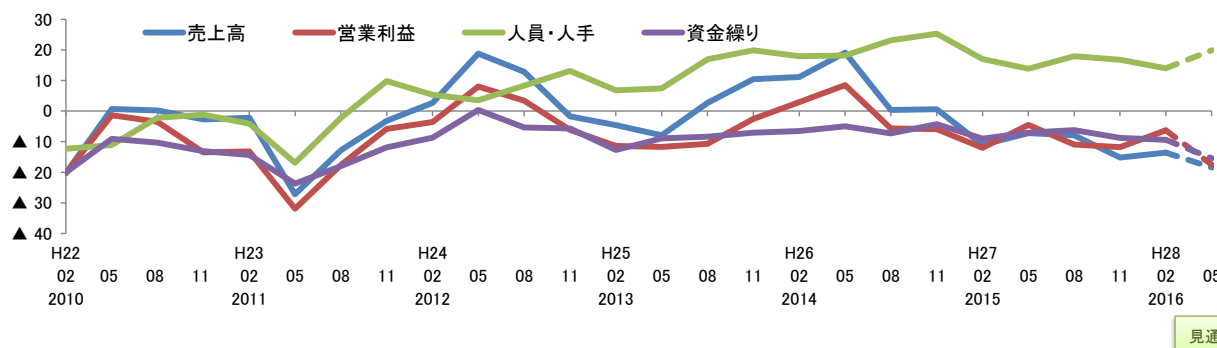
県内企業の業況は、自社の業況判断を示す「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲13.1（前回調査比 2.5 ポイント下落）と 3 期連続で悪化した。「各種 D I 値（前年同期比）」をみると、「売上高」「営業利益」が改善したものの、「人員・人手」「資金繰り」は悪化となった。ただし、「売上高」「営業利益」とも改善したものの依然としてマイナスで推移しており、さらに「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は平成 26 年 8 月調査以降マイナスで推移していることから、業況について慎重な見方が続いているものと考えられる。

先行き見通しは、「自社の業況 D I 値」が▲19.9（今回調査比 6.8 ポイント下落）とさらに悪化の見込みとなり、先行きへの不安感が強まっている。

図表 1 全業種「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



図表 2 全業種「各種 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

山形県 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			売上高	営業利益	人員 人手	資金 繰り
	全業種	前回調査比	前回調査予測				
H 27.02 (n=448)	▲ 11.1	(▲ 9.1)	▲ 14.5	▲ 11.0	▲ 12.0	17.0	▲ 9.0
H 27.05 (n=442)	▲ 5.5	(5.6)	▲ 15.4	▲ 7.2	▲ 4.5	13.8	▲ 7.1
H 27.08 (n=435)	▲ 7.9	(▲ 2.4)	▲ 15.1	▲ 7.9	▲ 10.9	17.9	▲ 6.2
H 27.11 (n=440)	▲ 10.6	(▲ 2.7)	▲ 7.3	▲ 15.2	▲ 11.8	16.8	▲ 8.8
H 28.02 (n=428)	▲ 13.1	(▲ 2.5)	▲ 12.1	▲ 13.6	▲ 6.3	14.0	▲ 9.4
前回調査比	-	-	-	(1.6)	(5.5)	(▲ 2.8)	(▲ 0.6)
先行き見通し	▲ 19.9	-	-	▲ 18.5	▲ 17.5	19.9	▲ 15.4
今回調査比	(▲ 6.8)	-	-	(▲ 4.9)	(▲ 11.2)	(5.9)	(▲ 6.0)

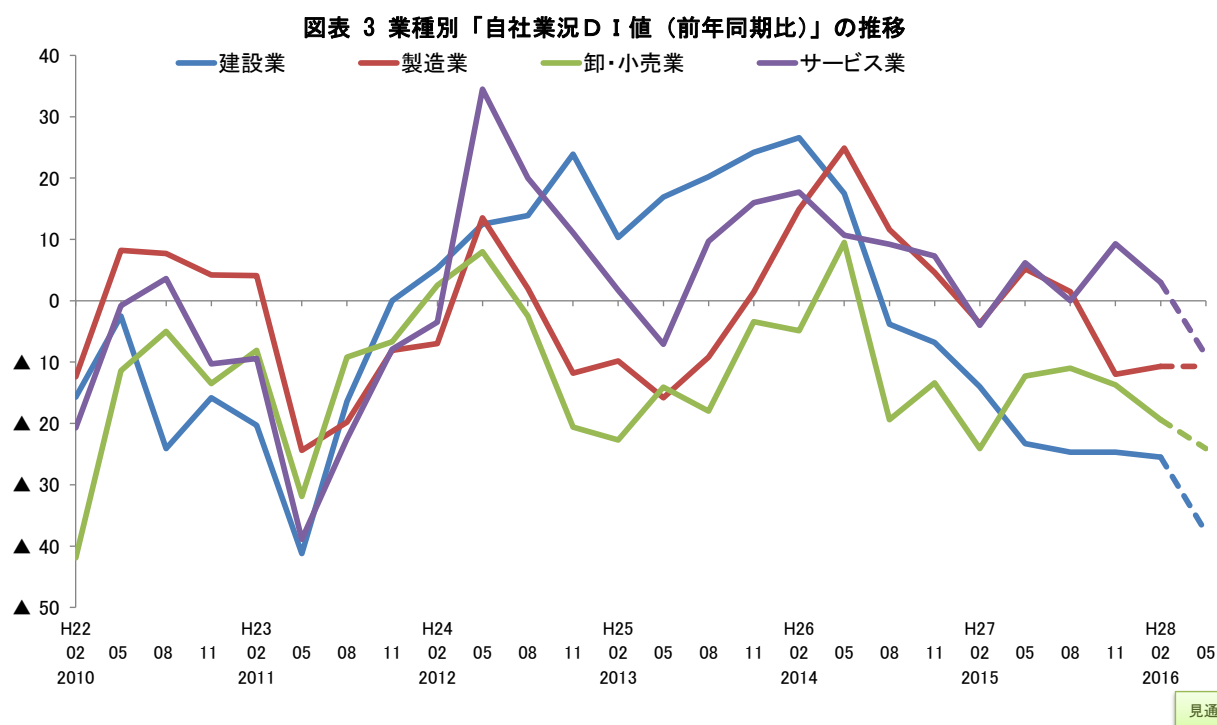
※「売上高」D I 値は建設業の「完成工事高」を含んだ数値

2. 業種別の動向

(1) 業種別の概況

業種別に「自社の業況DI値（前年同期比）」をみると、建設業が▲25.5（前回調査比 0.8 ポイント下落）、製造業が▲10.7（前回調査比 1.3 ポイント上昇）、卸・小売業が▲19.4（前回調査比 5.7 ポイント下落）、サービス業が 3.0（前回調査比 6.3 ポイント下落）と、建設業がほぼ横ばい、製造業が若干改善となったものの、卸・小売業、サービス業については大幅悪化となっている。要因として、消費税増税以降の需要の低迷などが考えられる。

業況の先行き見通しは、製造業で横ばいが見込まれるものの、他の3業種で悪化の見込みとなっている。



業種別 調査時（サンプル数）	前年同期比の自社業況DI値 自社業況（前年同期比）				
	全業種	建設	製造	卸・小売	サービス
H 27. 02 (n=448)	▲ 11.1	▲ 14.0	▲ 3.7	▲ 24.1	▲ 4.0
H 27. 05 (n=442)	▲ 5.5	▲ 23.3	5.2	▲ 12.3	6.2
H 27. 08 (n=435)	▲ 7.9	▲ 24.7	1.5	▲ 11.0	0.0
H 27. 11 (n=440)	▲ 10.6	▲ 24.7	▲ 12.0	▲ 13.7	9.3
H 28. 02 (n=428)	▲ 13.1	▲ 25.5	▲ 10.7	▲ 19.4	3.0
前回調査比	(▲ 2.5)	(▲ 0.8)	(1.3)	(▲ 5.7)	(▲ 6.3)
先行き見通し	▲ 19.9	▲ 37.7	▲ 10.7	▲ 24.1	▲ 8.9
今回調査比	(▲ 6.8)	(▲ 12.2)	(0.0)	(▲ 4.7)	(▲ 11.9)

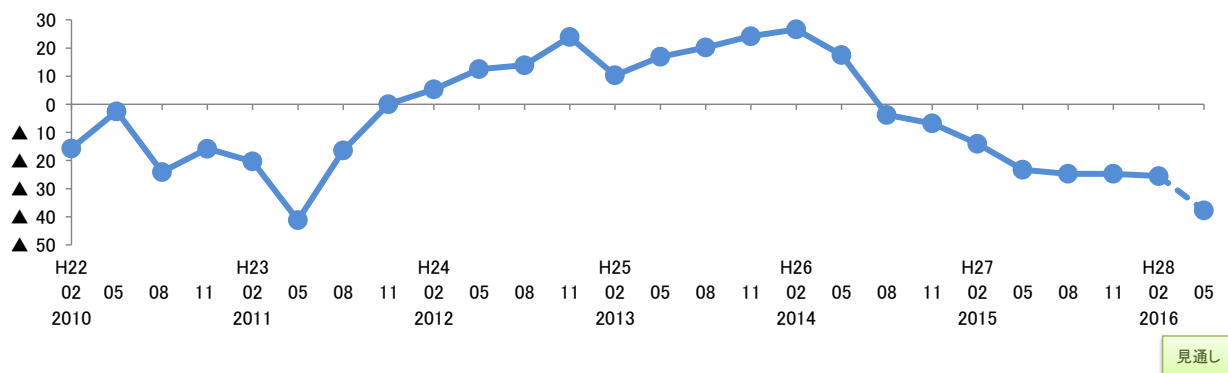
(2) 業種別 D I 値の動向

① 建設業

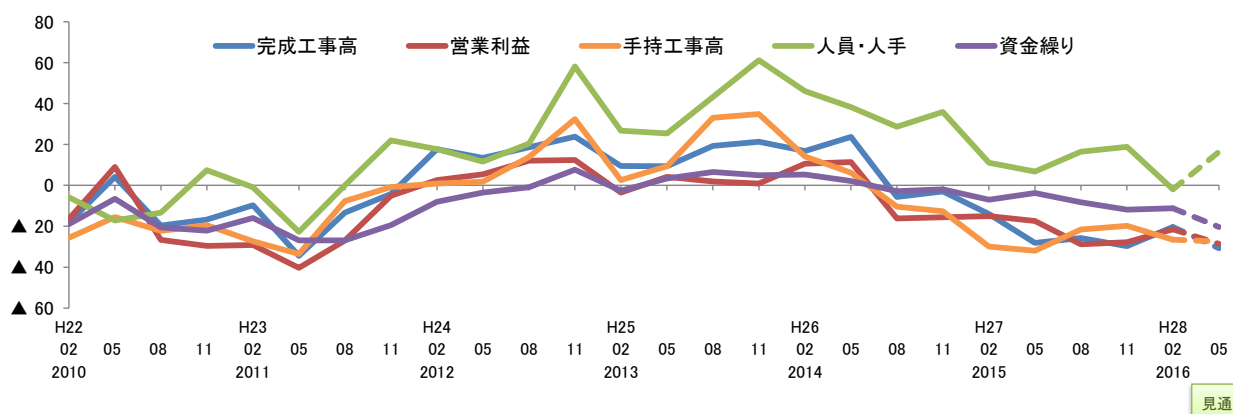
「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は▲25.5（前回調査比 0.8 ポイント下落）とほぼ横ばいとなった。「各種 D I 値（前年同期比）」をみると、「手持工事高」「人員・人手」が悪化となった。業況が低調に推移している要因としては、公共工事の減少傾向に加え、降雪量の少なさから除排雪作業も減少したことなどが考えられる。また、プラスで推移していた「人員・人手」の D I 値が大幅に悪化してマイナスに転じており、工事量の減少により、これまでの人出不足傾向から一転して人員が余剰となった状況がうかがえる。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値」が▲37.7（今回調査比 12.2 ポイント下落）と一層悪化の見込みとなっている。

図表 4 建設業「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



図表 5 建設業「各種 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

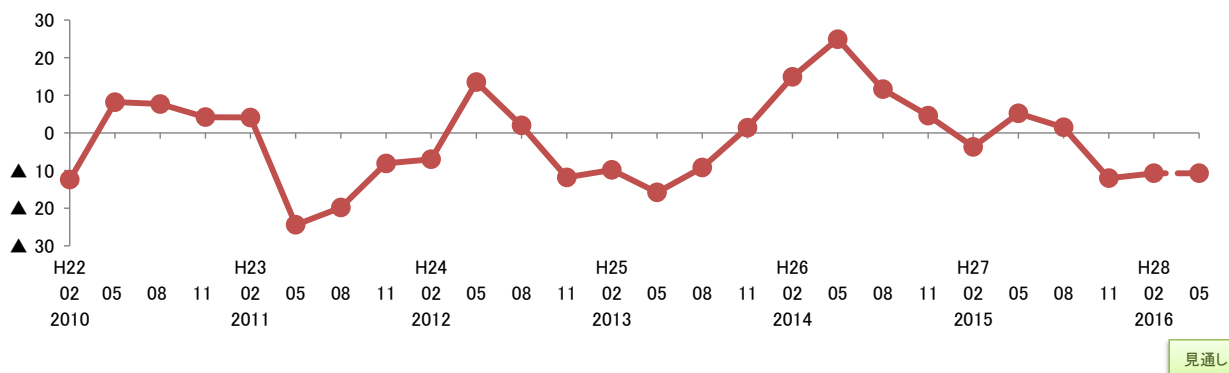
建設業 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			完成 工事高	営業 利益	手持 工事高	人員 人手	資金 繰り
	前回調査比	前回調査予測						
H 27.02 (n=100)	▲ 14.0	(▲ 7.2)	▲ 24.2	▲ 14.0	▲ 15.0	▲ 30.0	11.0	▲ 7.0
H 27.05 (n=103)	▲ 23.3	(▲ 9.3)	▲ 27.0	▲ 28.1	▲ 17.4	▲ 32.0	6.8	▲ 3.8
H 27.08 (n=97)	▲ 24.7	(▲ 1.4)	▲ 40.8	▲ 25.8	▲ 28.8	▲ 21.6	16.5	▲ 8.3
H 27.11 (n=101)	▲ 24.7	(0.0)	▲ 20.6	▲ 29.7	▲ 27.8	▲ 19.8	18.8	▲ 11.9
H 28.02 (n=98)	▲ 25.5	(▲ 0.8)	▲ 27.7	▲ 20.4	▲ 21.5	▲ 26.6	▲ 2.0	▲ 11.2
前回調査比	-	-	-	(9.3)	(6.3)	(▲ 6.8)	(▲ 20.8)	(0.7)
先行き見通し	▲ 37.7	-	-	▲ 30.7	▲ 28.6	▲ 27.5	16.4	▲ 20.4
今回調査比	(▲ 12.2)	-	-	(▲ 10.3)	(▲ 7.1)	(▲ 0.9)	(18.4)	(▲ 9.2)

② 製造業

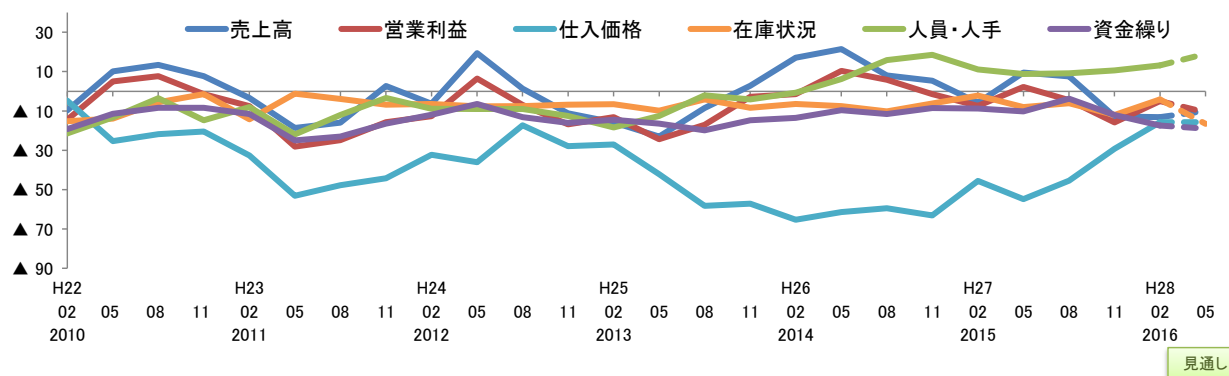
「自社の業況DI値（前年同期比）」は▲10.7（前回調査比1.3ポイント上昇）と若干改善した。「各種DI値（前年同期比）」をみると、「売上高」「資金繰り」が悪化しているものの、その他の4項目が改善となった。中でも「営業利益」「仕入価格」の改善幅が大きい。「仕入価格」は低水準ながら3期連続で改善しており、原材料価格の高騰は引き続き継続しているものの、その影響が幾分和らいでいる状況がうかがえる。また、原油価格の下落により、燃料費が減少したことも業況にプラスの影響を与えているものと考えられる。

業況の先行き見通しは、「自社の業況DI値」が▲10.7（今回調査比±0）と横ばいの見込みとなっている。

図表 6 製造業「自社業況DI値（前年同期比）」の推移



図表 7 製造業「各種DI値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況DI値

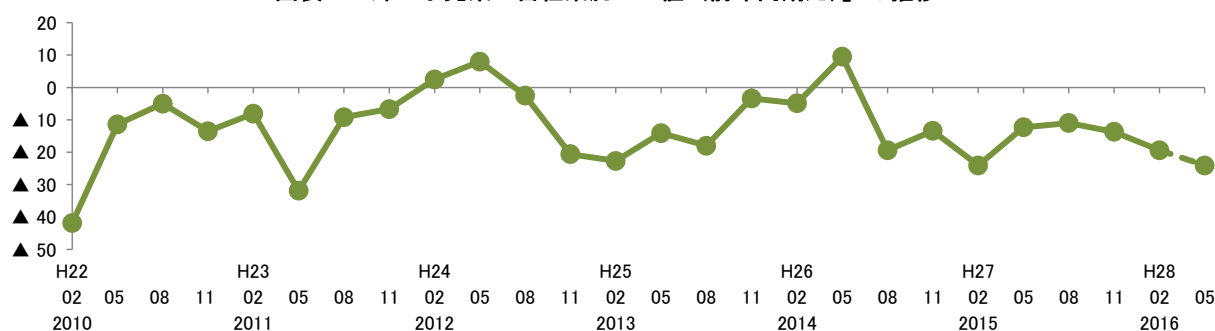
製造業 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			売上高	営業利益	仕入価格	在庫状況	人員・人手	資金繰り
	前回調査比	前回調査予測							
H 27. 02 (n=136)	▲ 3.7	(▲ 8.3)	▲ 6.1	▲ 5.9	▲ 7.4	▲ 45.6	▲ 2.2	11.1	▲ 8.8
H 27. 05 (n=137)	5.2	(8.9)	▲ 3.7	9.5	2.2	▲ 54.8	▲ 8.0	8.8	▲ 10.2
H 27. 08 (n=132)	1.5	(▲ 3.7)	1.4	7.6	▲ 4.5	▲ 45.5	▲ 6.1	9.1	▲ 3.8
H 27. 11 (n=133)	▲ 12.0	(▲ 13.5)	1.5	▲ 12.8	▲ 15.8	▲ 29.3	▲ 12.1	10.6	▲ 12.1
H 28. 02 (n=121)	▲ 10.7	(1.3)	▲ 2.3	▲ 13.2	▲ 5.0	▲ 15.7	▲ 4.2	13.2	▲ 17.4
前回調査比	-	-	-	(▲ 0.4)	(10.8)	(13.6)	(7.9)	(2.6)	(▲ 5.3)
先行き見通し	▲ 10.7	-	-	▲ 10.0	▲ 10.7	▲ 15.7	▲ 16.6	19.0	▲ 19.0
今回調査比	(0.0)	-	-	(3.2)	(▲ 5.7)	(0.0)	(▲ 12.4)	(5.8)	(▲ 1.6)

③ 卸・小売業

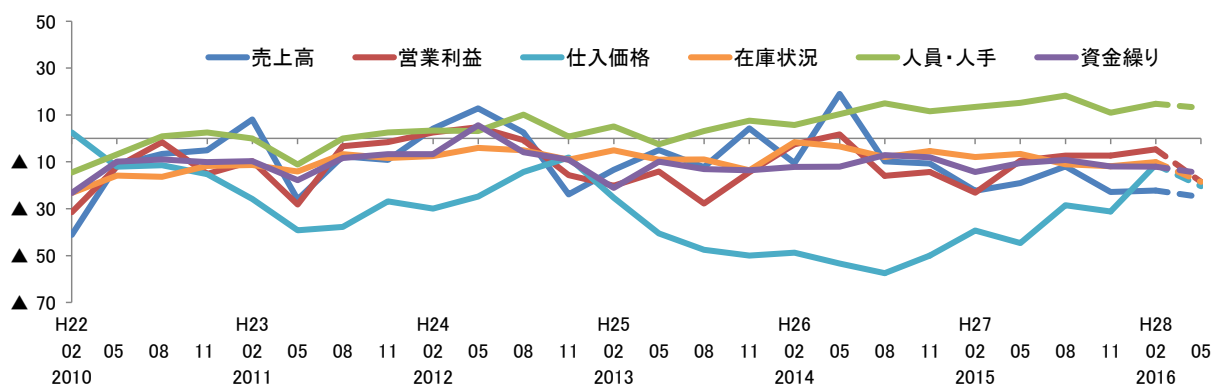
「自社の業況DI値（前年同期比）」は▲19.4（前回調査比 5.7 ポイント下落）と 2 期連続で悪化となった。「各種DI値（前年同期比）」をみると、「資金繰り」を除く 5 項目で改善しているものの、「人員・人手」を除き、「売上高」「営業利益」「仕入価格」「在庫状況」「資金繰り」の 5 項目でDI値がマイナスで推移している。消費税増税後の消費低迷が継続していることや、暖冬により季節商品などの販売が振るわなかったことなどが要因と考えられる。また、ガソリンスタンドなどの燃料小売業では暖冬に加え、原油価格の下落による業況悪化の状況がうかがえる。

業況の先行き見通しは、▲24.1（今回調査比 4.7 ポイント下落）とさらに悪化の見込みとなっている。

図表 8 卸・小売業「自社業況DI値（前年同期比）」の推移



図表 9 卸・小売業「各種DI値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況DI値

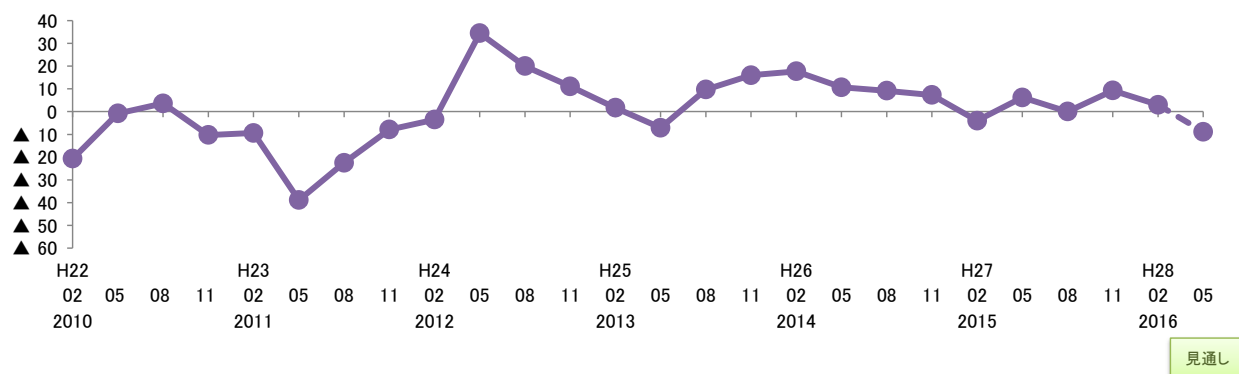
卸・小売業 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			売上高	営業利益	仕入価格	在庫状況	人員 人手	資金繰り
	前回調査比	前回調査予測							
H 27.02 (n=112)	▲ 24.1	(▲ 10.7)	▲ 16.1	▲ 22.3	▲ 23.2	▲ 39.3	▲ 8.0	13.4	▲ 14.3
H 27.05 (n=105)	▲ 12.3	(11.8)	▲ 24.1	▲ 19.1	▲ 9.5	▲ 44.7	▲ 6.6	15.2	▲ 10.5
H 27.08 (n=109)	▲ 11.0	(1.3)	▲ 14.3	▲ 12.0	▲ 7.3	▲ 28.5	▲ 11.0	18.3	▲ 9.2
H 27.11 (n=109)	▲ 13.7	(▲ 2.7)	▲ 9.2	▲ 22.9	▲ 7.3	▲ 31.2	▲ 11.9	11.0	▲ 12.0
H 28.02 (n=108)	▲ 19.4	(▲ 5.7)	▲ 16.5	▲ 22.2	▲ 4.7	▲ 11.2	▲ 10.1	14.8	▲ 12.1
前回調査比	-	-	-	(0.7)	(2.6)	(20.0)	(1.8)	(3.8)	(▲ 0.1)
先行き見通し	▲ 24.1	-	-	▲ 25.0	▲ 18.5	▲ 20.4	▲ 18.5	13.0	▲ 14.8
今回調査比	(▲ 4.7)	-	-	(▲ 2.8)	(▲ 13.8)	(▲ 9.2)	(▲ 8.4)	(▲ 1.8)	(▲ 2.7)

④ サービス業

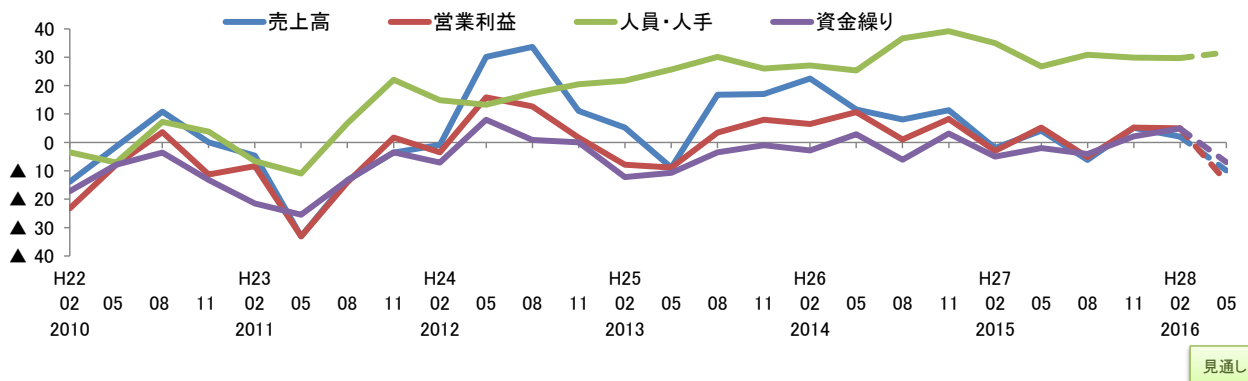
「自社の業況D I 値（前年同期比）」は3.0（前回調査比6.3ポイント下落）と悪化となった。「各種D I 値（前年同期比）」をみると、「資金繰り」を除く3項目で悪化ないしほぼ横ばいとなっている。総じて、消費税増税後から続く需要の低迷などが要因と考えられ、自動車整備業や情報サービス関連業などで業況悪化の状況がうかがえる。

業況の先行き見通しは、「自社の業況D I 値」が▲8.9（今回調査比11.9ポイント下落）とD I 値がマイナスに転じる見込みとなっている。

図表 10 サービス業「自社業況D I 値（前年同期比）」の推移



図表 11 サービス業「各種D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況D I 値

サービス業 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			売上高	営業利益	人員 人手	資金 繰り
	前回調査比	前回調査予測					
H 27.02 (n=100)	▲ 4.0	(▲ 11.3)	▲ 13.4	▲ 2.0	▲ 3.0	35.0	▲ 5.0
H 27.05 (n=97)	6.2	(10.2)	▲ 10.0	4.1	5.2	26.8	▲ 2.0
H 27.08 (n=97)	0.0	(▲ 6.2)	▲ 12.3	▲ 6.2	▲ 5.2	30.9	▲ 4.1
H 27.11 (n=97)	9.3	(9.3)	▲ 4.1	5.1	5.2	29.9	2.1
H 28.02 (n=101)	3.0	(▲ 6.3)	▲ 4.1	2.0	5.0	29.7	4.9
前回調査比	-	-	-	(▲ 3.1)	(▲ 0.2)	(▲ 0.2)	(2.8)
先行き見通し	▲ 8.9	-	-	▲ 9.9	▲ 13.8	31.7	▲ 6.9
今回調査比	(▲ 11.9)	-	-	(▲ 11.9)	(▲ 18.8)	(2.0)	(▲ 11.8)

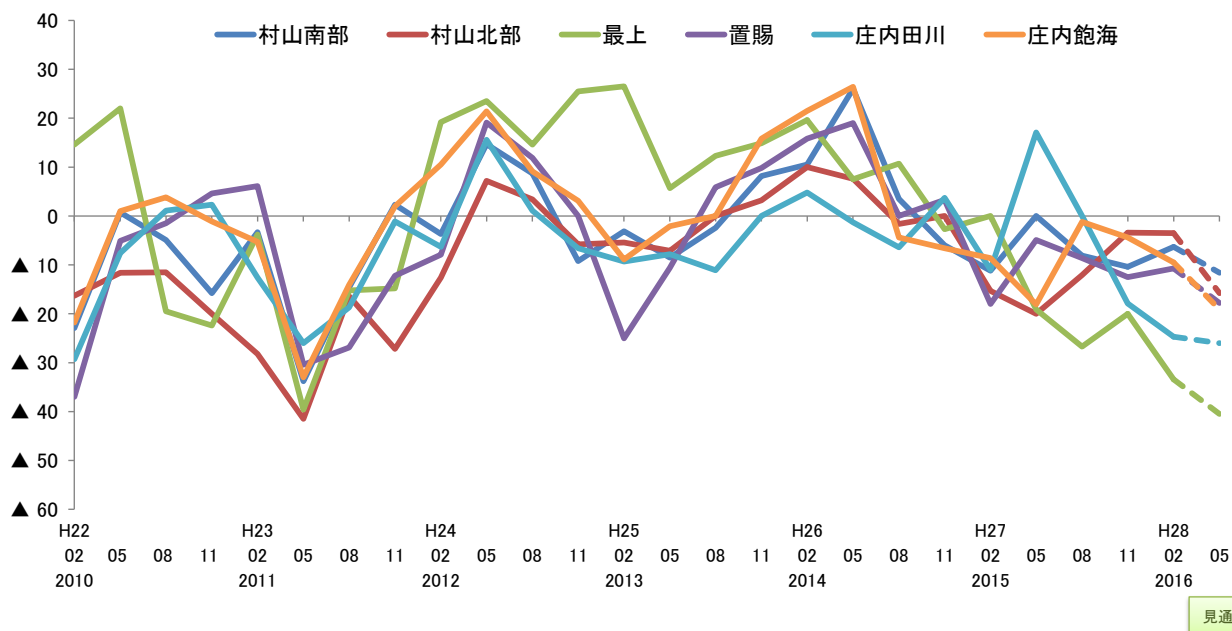
3. 地域別の動向

(1) 地域別の概況

地域別に「自社の業況DI値（前年同期比）」をみると、村山南部が▲6.3（前回調査比4.1ポイント上昇）、村山北部が▲3.5（前回調査比0.1ポイント下落）、最上が▲33.4（前回調査比13.4ポイント下落）、置賜が▲10.7（前回調査比1.8ポイント上昇）、庄内田川が▲24.7（前回調査比6.8ポイント下落）、庄内飽海が▲9.5（前回調査比5.1ポイント下落）と、村山南部、置賜で改善したもの、村山北部でほぼ横ばい、最上、庄内田川、庄内飽海で悪化となった。

業況の先行き見通しをみると、すべての地域で悪化の見込みとなっている。

図表 12 地域別「自社業況DI値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況DI値

地域別 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）						
	全地域	村山南部	村山北部	最上	置賜	庄内田川	庄内飽海
H 27. 02 (n=448)	▲ 11.1	▲ 11.2	▲ 15.3	0.0	▲ 18.0	▲ 11.0	▲ 8.6
H 27. 05 (n=442)	▲ 5.5	0.0	▲ 20.0	▲ 19.1	▲ 4.9	17.1	▲ 18.1
H 27. 08 (n=435)	▲ 7.9	▲ 8.1	▲ 12.1	▲ 26.7	▲ 8.6	0.0	▲ 1.2
H 27. 11 (n=440)	▲ 10.6	▲ 10.4	▲ 3.4	▲ 20.0	▲ 12.5	▲ 17.9	▲ 4.4
H 28. 02 (n=428)	▲ 13.1	▲ 6.3	▲ 3.5	▲ 33.4	▲ 10.7	▲ 24.7	▲ 9.5
前回調査比	(▲ 2.5)	(4.1)	(▲ 0.1)	(▲ 13.4)	(1.8)	(▲ 6.8)	(▲ 5.1)
先行き見通し	▲ 19.9	▲ 11.6	▲ 15.8	▲ 40.5	▲ 17.8	▲ 26.0	▲ 19.1
今回調査比	(▲ 6.8)	(▲ 5.3)	(▲ 12.3)	(▲ 7.1)	(▲ 7.1)	(▲ 1.3)	(▲ 9.6)

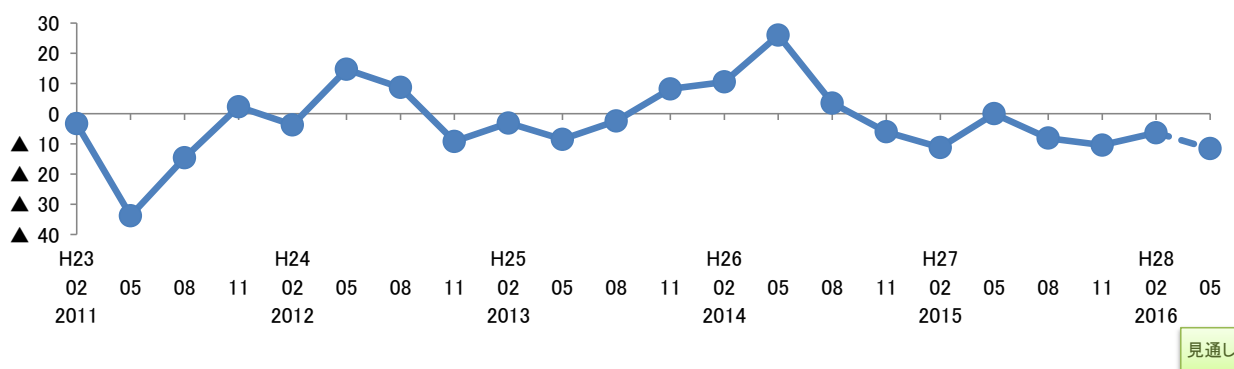
(2) 地域別 D I 値の動向

① 村山南部

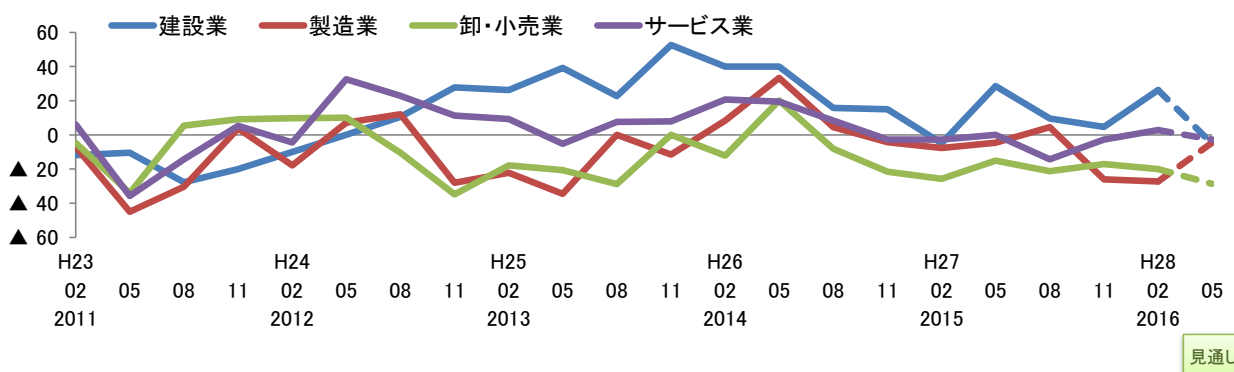
「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は▲6.3（前回調査比 4.1 ポイント上昇）と 3 期ぶりに改善した。業種別にみると、製造業と卸・小売業で悪化となったものの、建設業とサービス業で改善となった。サービス業では D I 値がプラスに転じた。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値」が▲11.6（今回調査比 5.3 ポイント下落）と悪化に転じる見込みとなっている。

図表 13 村山南部「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



図表 14 村山南部「業種別・自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

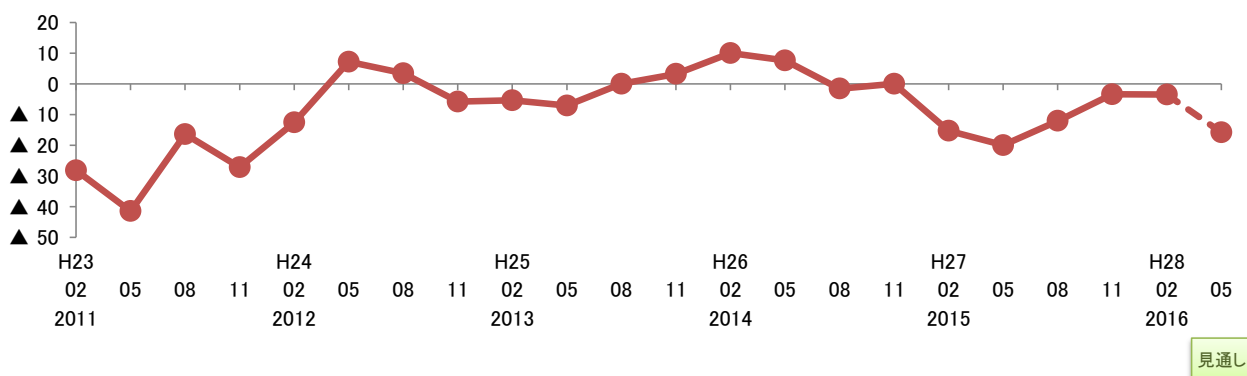
村山南部 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			業種別/自社業況（前年同期比）			
	全業種	前回調査比	前回調査予測	建設	製造	卸・小売	サービス
H 27.02 (n=116)	▲ 11.2	(▲ 5.2)	▲ 6.8	▲ 5.0	▲ 7.7	▲ 25.7	▲ 2.8
H 27.05 (n=113)	0.0	(11.2)	▲ 13.7	28.6	▲ 4.6	▲ 15.1	0.0
H 27.08 (n=111)	▲ 8.1	(▲ 8.1)	▲ 15.9	9.5	4.5	▲ 21.2	▲ 14.3
H 27.11 (n=116)	▲ 10.4	(▲ 2.3)	▲ 1.8	4.7	▲ 26.1	▲ 17.1	▲ 2.7
H 28.02 (n=112)	▲ 6.3	(4.1)	▲ 15.5	26.3	▲ 27.3	▲ 20.0	2.8
前回調査比	-	-	-	(21.6)	(▲ 1.2)	(▲ 2.9)	(5.5)
先行き見通し	▲ 11.6	-	-	▲ 5.3	▲ 4.6	▲ 28.6	▲ 2.8
今回調査比	(▲ 5.3)	-	-	(▲ 31.6)	(22.7)	(▲ 8.6)	(▲ 5.6)

② 村山北部

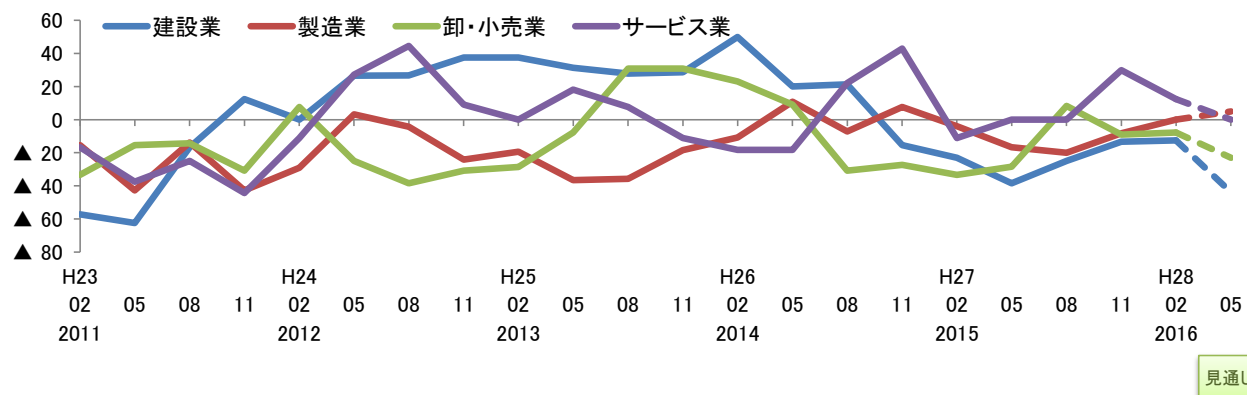
「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は▲3.5（前回調査比 0.1 ポイント下落）とほぼ横ばいとなった。業種別にみると、建設業がほぼ横ばい、製造業が改善、卸・小売業が若干改善となった一方、サービス業は大幅に悪化となった。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値」が▲15.8（今回調査比 12.3 ポイント下落）とさらに悪化の見込みとなっている。

図表 15 村山北部「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



図表 16 村山北部「業種別・自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

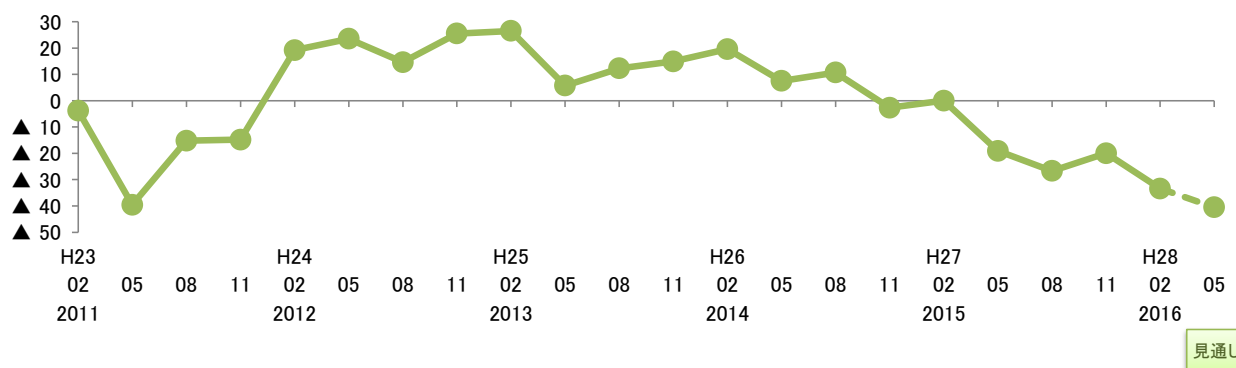
村山北部 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			業種別/自社業況（前年同期比）			
	全業種	前回調査比	前回調査予測	建設	製造	卸・小売	サービス
H 27.02 (n=59)	▲ 15.3	(▲ 15.3)	▲ 15.8	▲ 23.1	▲ 4.0	▲ 33.4	▲ 11.1
H 27.05 (n=55)	▲ 20.0	(▲ 4.7)	▲ 23.7	▲ 38.5	▲ 16.6	▲ 28.5	0.0
H 27.08 (n=58)	▲ 12.1	(7.9)	▲ 14.6	▲ 25.0	▲ 20.0	8.3	0.0
H 27.11 (n=60)	▲ 3.4	(8.7)	▲ 3.4	▲ 13.3	▲ 8.3	▲ 9.1	30.0
H 28.02 (n=57)	▲ 3.5	(▲ 0.1)	▲ 6.6	▲ 12.5	0.0	▲ 7.7	12.5
前回調査比	-	-	-	(0.8)	(8.3)	(1.4)	(▲ 17.5)
先行き見通し	▲ 15.8	-	-	▲ 43.8	5.0	▲ 23.1	0.0
今回調査比	(▲ 12.3)	-	-	(▲ 31.3)	(5.0)	(▲ 15.4)	(▲ 12.5)

③ 最上

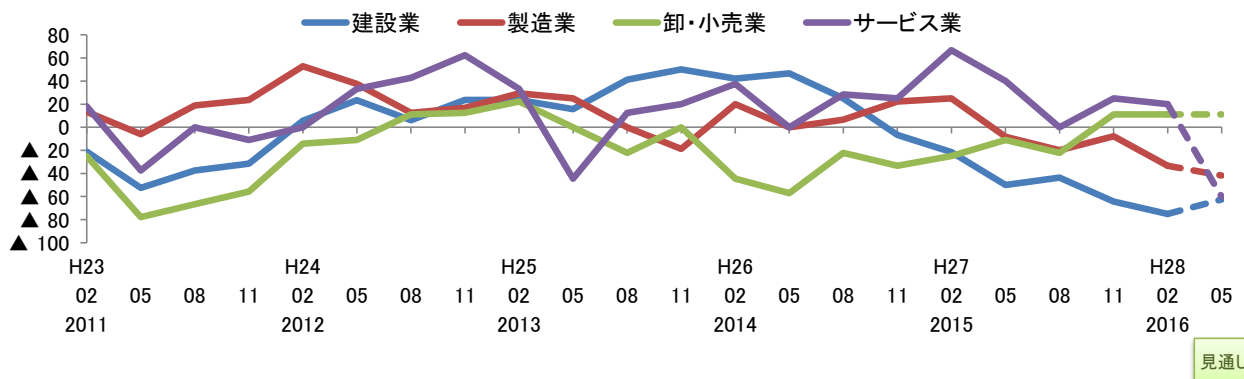
「自社の業況DI値（前年同期比）」は▲33.4（前回調査比 13.4 ポイント下落）と大幅に悪化となった。業種別にみると、卸・小売業が横ばいとなったものの、建設業、製造業、サービス業で悪化した。中でも建設業と製造業の悪化幅が大きい。

業況の先行き見通しは、「自社の業況DI値」が▲40.5（今回調査比 7.1 ポイント下落）とさらに悪化の見込みとなっている。

図表 17 最上「自社業況DI値（前年同期比）」の推移



図表 18 最上「業種別・自社業況DI値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況DI値

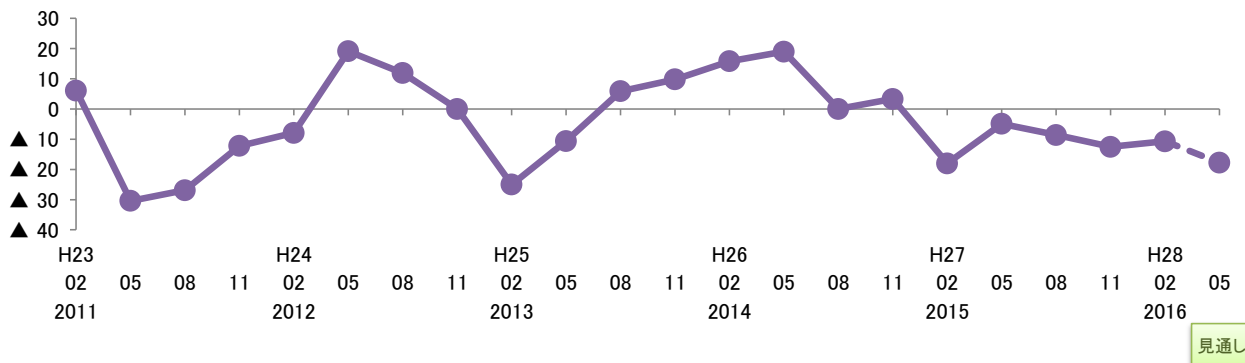
最上 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			業種別/自社業況（前年同期比）			
	全業種	前回調査比	前回調査予測	建設	製造	卸・小売	サービス
H 27.02 (n=37)	0.0	(2.7)	▲ 16.2	▲ 21.5	25.0	▲ 25.0	66.7
H 27.05 (n=42)	▲ 19.1	(▲ 19.1)	▲ 24.3	▲ 50.0	▲ 8.3	▲ 11.1	40.0
H 27.08 (n=45)	▲ 26.7	(▲ 7.6)	▲ 31.0	▲ 43.7	▲ 20.0	▲ 22.2	0.0
H 27.11 (n=40)	▲ 20.0	(6.7)	0.0	▲ 64.3	▲ 7.7	11.1	25.0
H 28.02 (n=42)	▲ 33.4	(▲ 13.4)	▲ 22.5	▲ 75.0	▲ 33.3	11.1	20.0
前回調査比	-	-	-	(▲ 10.7)	(▲ 25.6)	(0.0)	(▲ 5.0)
先行き見通し	▲ 40.5	-	-	▲ 62.5	▲ 41.7	11.1	▲ 60.0
今回調査比	(▲ 7.1)	-	-	(12.5)	(▲ 8.4)	(0.0)	(▲ 80.0)

④ 置 賜

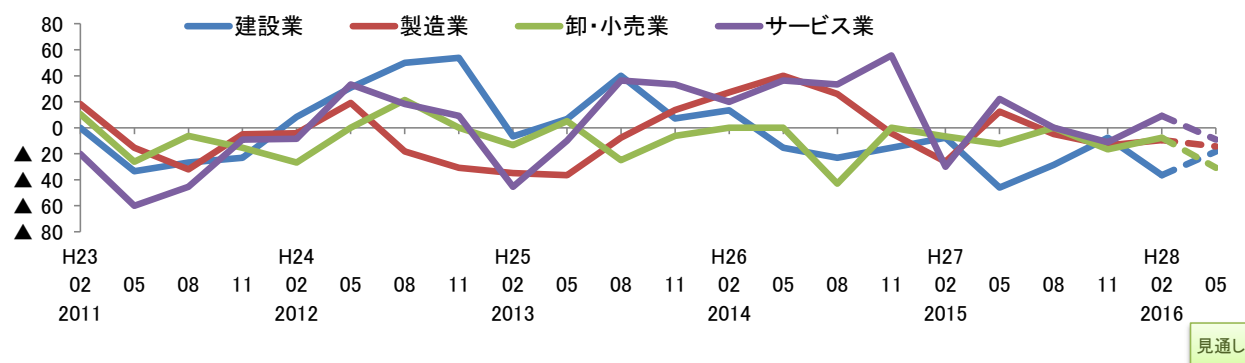
「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は▲10.7（前回調査比 1.8 ポイント上昇）と 3 期ぶりに若干改善した。業種別にみると、建設業で大幅に悪化したものの、その他の 3 業種で改善となっている。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値」が▲17.8（今回調査比 7.1 ポイント下落）と悪化の見込みとなっている。

図表 19 置賜「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



図表 20 置賜「業種別・自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

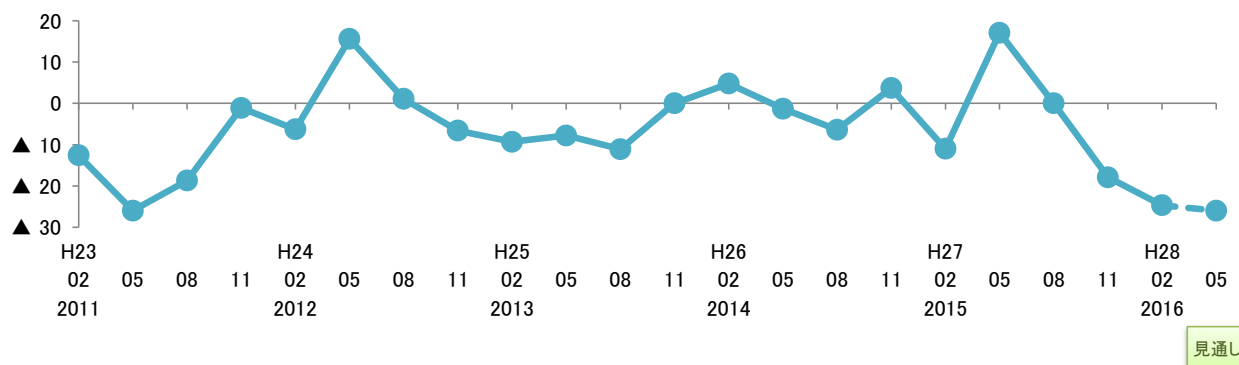
置 賜 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			業種別/自社業況（前年同期比）			
	全業種	前回調査比	前回調査予測	建設	製造	卸・小売	サービス
H 27.02 (n=61)	▲ 18.0	(▲ 21.3)	▲ 14.7	▲ 7.7	▲ 26.1	▲ 6.6	▲ 30.0
H 27.05 (n=62)	▲ 4.9	(13.1)	▲ 4.9	▲ 46.1	12.5	▲ 12.5	22.2
H 27.08 (n=58)	▲ 8.6	(▲ 3.7)	▲ 3.2	▲ 28.6	▲ 4.8	0.0	0.0
H 27.11 (n=56)	▲ 12.5	(▲ 3.9)	▲ 8.6	▲ 7.7	▲ 13.6	▲ 16.6	▲ 11.1
H 28.02 (n=56)	▲ 10.7	(1.8)	▲ 16.0	▲ 36.4	▲ 9.5	▲ 7.7	9.1
前回調査比	-	-	-	(▲ 28.7)	(4.1)	(8.9)	(20.2)
先行き見通し	▲ 17.8	-	-	▲ 18.2	▲ 14.3	▲ 30.8	▲ 9.1
今回調査比	(▲ 7.1)	-	-	(18.2)	(▲ 4.8)	(▲ 23.1)	(▲ 18.2)

⑤ 庄内田川

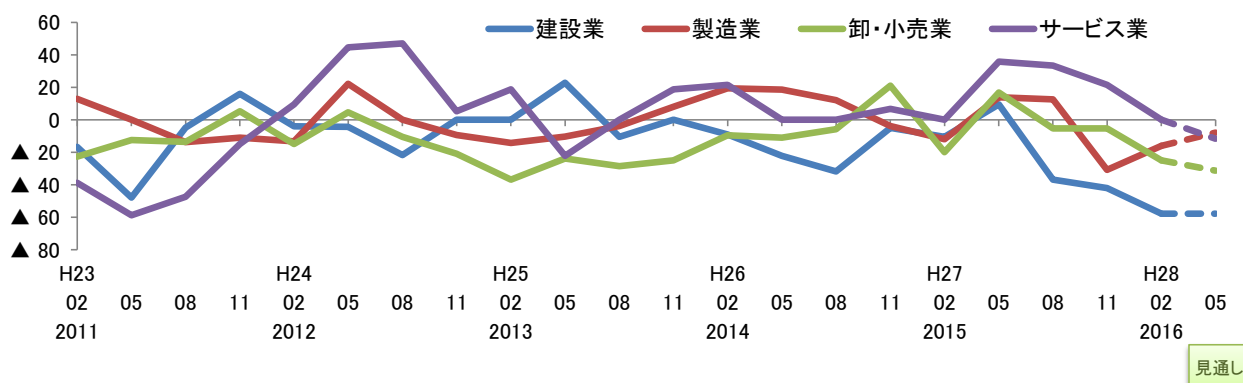
「自社の業況DI値（前年同期比）」は▲24.7（前回調査比 6.8 ポイン下落）と 3 期連続で悪化となった。業種別にみると、製造業で改善したものの、その他の 3 業種で大幅に悪化となっている。

業況の先行き見通しは、「自社の業況DI値」が▲26.0（今回調査比 1.3 ポイント下落）とさらに悪化の見込みとなっている。

図表 21 庄内田川「自社業況DI値（前年同期比）」の推移



図表 22 庄内田川「業種別・自社業況DI値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況DI値

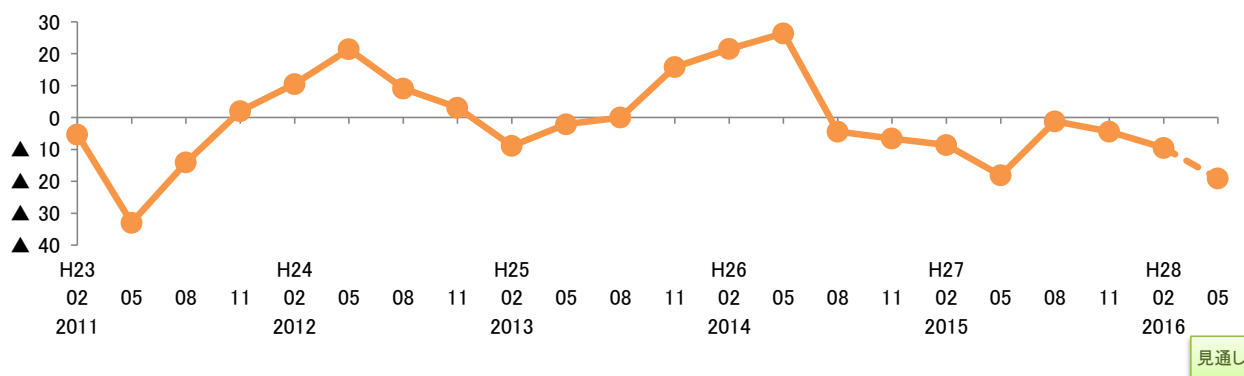
庄内田川 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			業種別/自社業況（前年同期比）			
	全業種	前回調査比	前回調査予測	建設	製造	卸・小売	サービス
H 27.02 (n=82)	▲ 11.0	(▲ 14.7)	▲ 15.0	▲ 10.5	▲ 12.0	▲ 20.0	0.0
H 27.05 (n=82)	17.1	(28.1)	▲ 18.3	9.5	13.8	16.7	35.8
H 27.08 (n=77)	0.0	(▲ 17.1)	▲ 9.8	▲ 36.8	12.5	▲ 5.3	33.4
H 27.11 (n=78)	▲ 17.9	(▲ 17.9)	▲ 19.5	▲ 42.1	▲ 30.8	▲ 5.3	21.5
H 28.02 (n=77)	▲ 24.7	(▲ 6.8)	▲ 6.4	▲ 57.9	▲ 16.0	▲ 25.0	0.0
前回調査比	-	-	-	(▲ 15.8)	(14.8)	(▲ 19.7)	(▲ 21.5)
先行き見通し	▲ 26.0	-	-	▲ 57.9	▲ 8.0	▲ 31.3	▲ 11.7
今回調査比	(▲ 1.3)	-	-	(0.0)	(8.0)	(▲ 6.3)	(▲ 11.7)

⑥ 庄内飽海

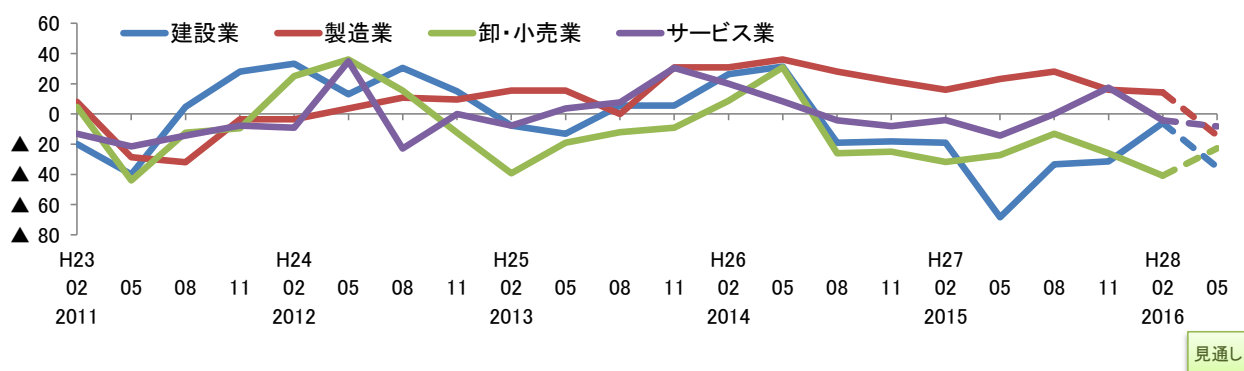
「自社の業況DI値（前年同期比）」は▲9.5（前回調査比 5.1 ポイント下落）と 2 期連続で悪化となった。業種別にみると、建設業で大幅に改善しているものの、製造業、卸・小売業、サービス業で悪化となっている。中でもサービス業の悪化幅が大きく、DI 値がマイナスに転じた。

業況の先行き見通しは、「自社の業況DI値」が▲19.1（今回調査比 9.6 ポイント下落）とさらに悪化の見込みとなっている。

図表 23 庄内飽海「自社の業況DI値（前年同期比）」の推移



図表 24 庄内飽海「業種別・自社の業況DI値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況DI値

庄内飽海 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			業種別/自社業況（前年同期比）			
	全業種	前回調査比	前回調査予測	建設	製造	卸・小売	サービス
H 27. 02 (n=93)	▲ 8.6	(▲ 2.0)	▲ 22.2	▲ 19.1	16.0	▲ 31.8	▲ 4.0
H 27. 05 (n=88)	▲ 18.1	(▲ 9.5)	▲ 12.9	▲ 68.4	23.1	▲ 27.3	▲ 14.3
H 27. 08 (n=86)	▲ 1.2	(16.9)	▲ 20.5	▲ 33.4	28.0	▲ 13.1	0.0
H 27. 11 (n=90)	▲ 4.4	(▲ 3.2)	▲ 9.3	▲ 31.5	16.0	▲ 26.1	17.4
H 28. 02 (n=84)	▲ 9.5	(▲ 5.1)	▲ 8.9	▲ 5.9	14.3	▲ 40.9	▲ 4.2
前回調査比	-	-	-	(25.6)	(▲ 1.7)	(▲ 14.8)	(▲ 21.6)
先行き見通し	▲ 19.1	-	-	▲ 35.3	▲ 14.3	▲ 22.7	▲ 8.3
今回調査比	(▲ 9.6)	-	-	(▲ 29.4)	(▲ 28.6)	(18.2)	(▲ 4.1)

II. 景気天気予報図

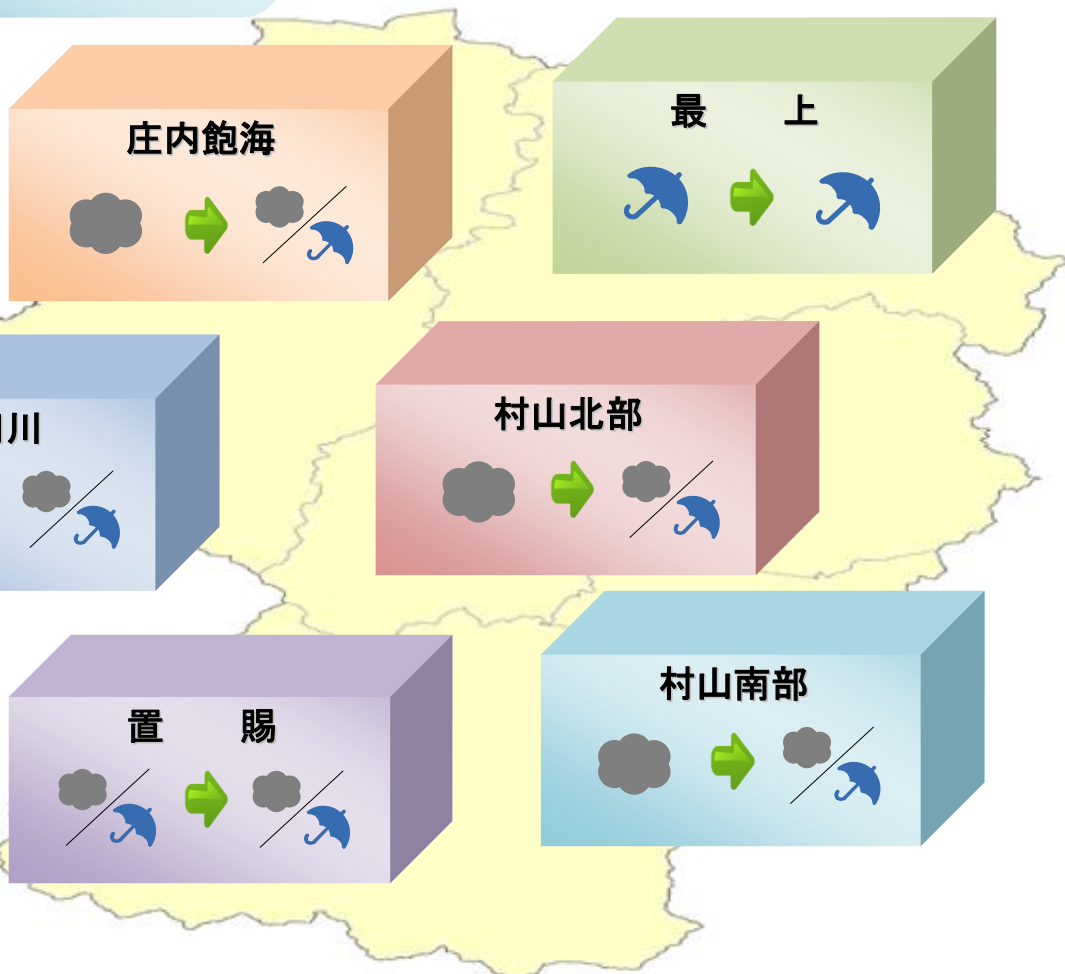
【天気図の凡例】

特に好調	好調	まあまあ	不振	きわめて不振
$D \geq 30$	$30 > D \geq 10$	$10 > D \geq \Delta 10$	$\Delta 10 > D \geq \Delta 30$	$\Delta 30 > D$

山形県

今期の業況 →

来期の見通し



今期の概況

来期の見通し

	山形県	村山南部	村山北部	最上	置賜	庄内田川	庄内飽海
全業種							
建設業							
製造業							
卸・小売業							
サービス業							



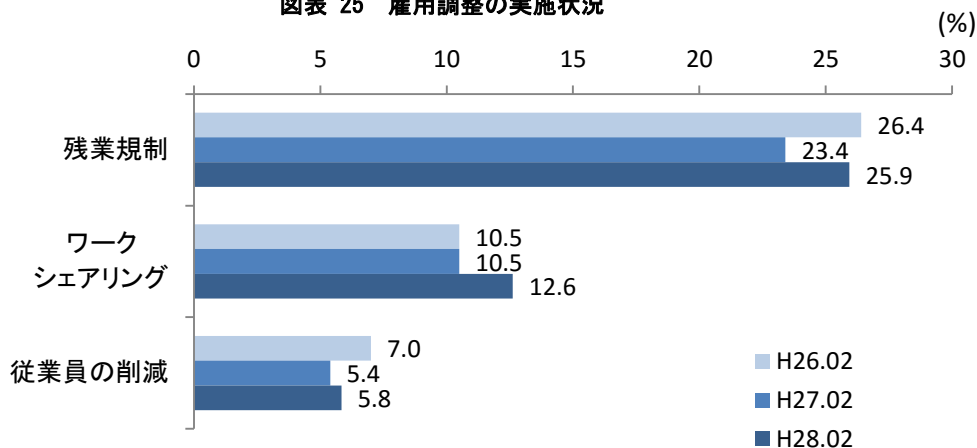
	山形県	村山南部	村山北部	最上	置賜	庄内田川	庄内飽海
全業種							
建設業							
製造業							
卸・小売業							
サービス業							

III. 特別調査

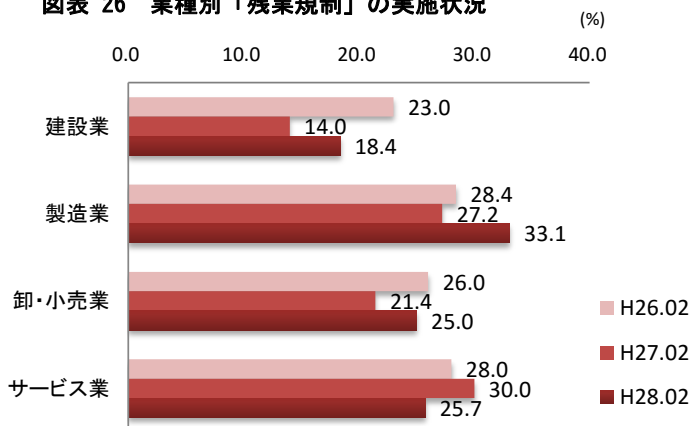
1. 雇用調整について

平成 27 年度に実施した（あるいは実施している）雇用調整について尋ねたところ、「残業規制」が 25.9%（昨年比+2.5%）、「ワークシェアリング」が 12.6%（昨年比+2.1%）、「従業員の削減」が 5.8%（昨年比+0.4%）と、すべての項目で昨年と比べて実施企業の割合が上昇した。要因として、県内企業の業況が悪化傾向にあることなどが考えられる。

図表 25 雇用調整の実施状況

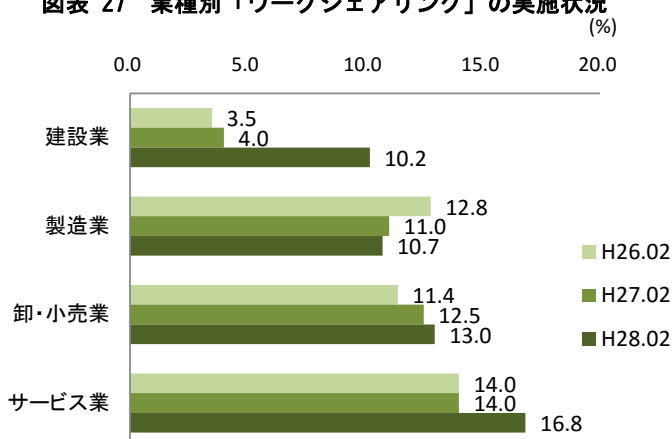


図表 26 業種別「残業規制」の実施状況



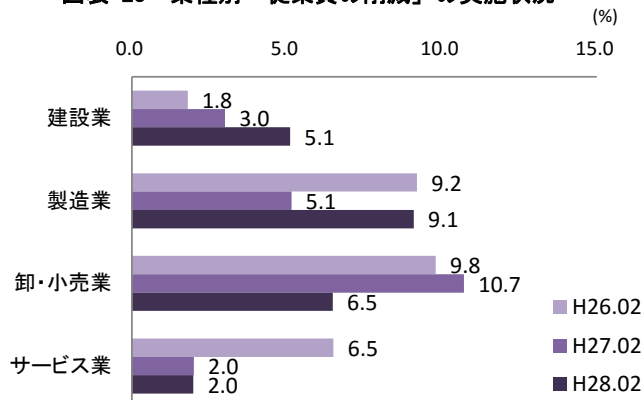
「残業規制」を実施している企業の割合は、昨年と比較すると、サービス業のみ低下し、建設業、製造業、卸・小売業で上昇している。中でも製造業は 33.1%（昨年比+5.9%）と他業種に比べて「残業規制」を実施している企業の割合が高く、かつ上昇幅も大きくなっており、業況悪化の状況がうかがえる。

図表 27 業種別「ワークシェアリング」の実施状況



「ワークシェアリング」を実施している企業の割合は、昨年比で、製造業のみ若干低下したものの、建設業、卸・小売業、サービス業で上昇した。中でも建設業は 10.2%（昨年比+6.2%）と上昇幅が大きい。3 年間の推移をみると、建設業では人手不足傾向が続いてきたことから「ワークシェアリング」の実施割合が他業種に比べて低水準となっていたが、今回調査では製造業や卸・小売業と同程度の水準まで上昇となった。

図表 28 業種別「従業員の削減」の実施状況

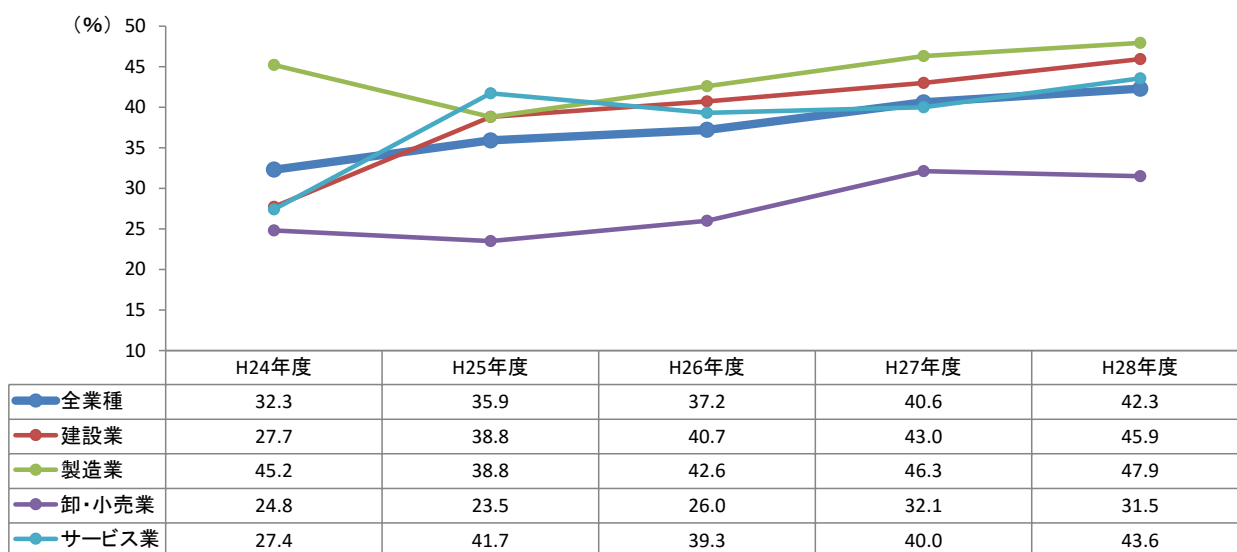


「従業員の削減」を実施している企業の割合は、昨年比で、卸・小売業で低下、サービス業で横ばいとなったものの、建設業が 5.1%（昨年比+2.1%）、製造業が 9.1%（昨年比+4.0%）と 2 業種で上昇となった。中でも建設業では、年々実施割合が上昇している。

2. 新卒者の採用状況について

来年度（平成 28 年度）の新卒者の採用状況（採用するかどうか）について尋ねたところ、採用すると答えた企業の割合は、全業種で見ると 42.3%（昨年比+1.7%）と若干上昇した。業種別にみると、建設業が 45.9%（昨年比+2.9%）、製造業が 47.9%（昨年比+1.6%）、卸・小売業が 31.5%（昨年比▲0.6%）、サービス業が 43.6%（昨年比+3.6%）と、卸・小売業のみ低下し、その他の 3 業種で上昇している。また、5 カ年の推移をみると、新卒者を採用する企業は全般的に上昇傾向にある。この背景には、人口減少にともなう労働力不足を懸念する状況があるものと考えられる。

図表 29 業種別「新卒者の採用状況」の推移



<参考資料Ⅰ：地域別・業種別回答率>

(サンプル数：社)

	建設	製造	卸・小売	サービス	合計
村山南部	26	35	54	55	170
村山北部	22	37	18	19	96
最上	21	19	12	18	70
置賜	23	33	27	16	99
庄内田川	31	39	30	31	131
庄内飽海	36	37	34	39	146
合計	159	200	175	178	712

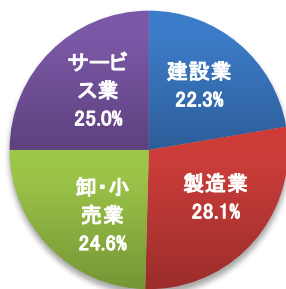
(回答数：社)

	建設	製造	卸・小売	サービス	合計
村山南部	19	22	35	36	112
村山北部	16	20	13	8	57
最上	16	12	9	5	42
置賜	11	21	13	11	56
庄内田川	19	25	16	17	77
庄内飽海	17	21	22	24	84
合計	98	121	108	101	428

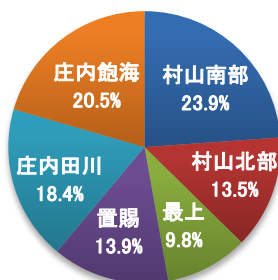
(回答率：%)

	建設	製造	卸・小売	サービス	合計
村山南部	73.1	62.9	64.8	65.5	65.9
村山北部	72.7	54.1	72.2	42.1	59.4
最上	76.2	63.2	75.0	27.8	60.0
置賜	47.8	63.6	48.1	68.8	56.6
庄内田川	61.3	64.1	53.3	54.8	58.8
庄内飽海	47.2	56.8	64.7	61.5	57.5
合計	61.6	60.5	61.7	56.7	60.1

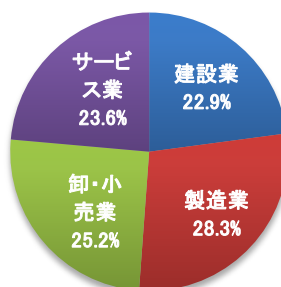
サンプル割合（業種別）



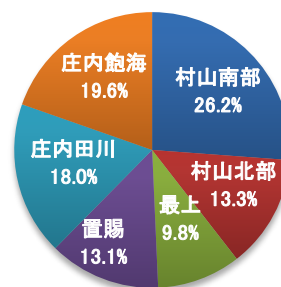
サンプル割合（地域別）



回答社割合（業種別）



回答社割合（地域別）



<参考資料Ⅱ：調査の概要>

● 調査の目的

県内に本社を置いて企業活動を営む法人企業を対象に、各社の業況の現状と今後の見通しに関する判断を調査し、県内の景気動向について把握するために実施した

● 調査の方法

インターネットを利用したアンケート調査（一部FAXを利用）

● 調査期間

平成 28 年 2 月 1 日(月)～12 日(金)

● 地域区分

地域名	対象となる市町村名
村山南部	山形市、上山市、山辺町、中山町
村山北部	寒河江市、村山市、天童市、東根市、尾花沢市、河北町、西川町、朝日町、大江町、大石田町
最 上	新庄市、金山町、最上町、舟形町、真室川町、大蔵村、鮭川村、戸沢村
置 賜	米沢市、長井市、南陽市、高畠町、川西町、小国町、白鷹町、飯豊町
庄内田川	鶴岡市、庄内町、三川町
庄内飽海	酒田市、遊佐町

● 調査の内容

アンケート調査は、各企業の業況判断について3肢択一方式を採用している。毎回必ず調査する「定例調査」と、調査時期にふさわしい経済トピックス等について調査する「特別調査」とを設けている

項 目	選択肢 (択一方式)
自社の業況 (共通項目)	1. 良い 2. さほど変わらない 3. 悪い
業界の業況 (共通項目)	1. 良い 2. さほど変わらない 3. 悪い
売上高 (建設業を除く)	1. 増えた 2. さほど変わらない 3. 減った
完成工事高 (建設業)	1. 増えた 2. さほど変わらない 3. 減った
営業利益 (共通項目)	1. 増えた 2. さほど変わらない 3. 減った
人員や人手 (共通項目)	1. 足りない 2. ちょうどよい 3. 余っている
資金繰り (共通項目)	1. 楽になった 2. さほど変わらない 3. 厳しい
原材料等の仕入価格 (製造業のみ)	1. 下がった 2. さほど変わらない 3. 上がった
製 (商) 品の仕入価 (卸・小売業のみ)	1. 下がった 2. さほど変わらない 3. 上がった
在庫状況 (製造業)	1. 増えた 2. さほど変わらない 3. 減った
手持工事高 (建設業)	1. 増えた 2. さほど変わらない 3. 減った

(注) 各項目とも「前年同期比」、「前期比」、「来期の見通し」について、それぞれ3肢択一方式を採用している

● 集計方法

各項目とも、現状判断、先行き見通しについてそれぞれDI値を算出する。DI値とは、Diffusion Index (ディフュージョン・インデックス) の略で、算出方法は次の通り

例) 自社の業況DI値

$$= (\text{「1. 良い」と回答した企業の割合}) - (\text{「3. 悪い」と回答した企業の割合})$$

たとえば「自社の業況DI値」がプラスであれば、相対的に自社の業況が良いと判断した企業が多いことになる。また、業況の変化の方向 (良くなっているか、悪くなっているか) についても分かる

ちなみに、他のDI値についても同様に、選択肢「1. 」(「調査の内容」の「選択肢」欄をご参照のこと) を選んだ企業の割合から選択肢「3. 」を選んだ企業の割合を差し引いて算出する

<お知らせ>

F S N会員専用ホームページ (<http://www.bb-town.jp/cgi-bin/fsn.cgi>) にアクセスすると、統計データの最新版をダウンロードすることができます。こちら是非ご利用ください。なお、過去の調査レポートや統計データは当社ホームページ (<http://www.f-ric.co.jp/>) 「調査レポート」コーナーからダウンロードすることができます。

<お問い合わせ先>

株式会社フィデア総合研究所

研究開発グループ 熊本 均 / 松田 美由紀

〒990-0043 山形県山形市本町1-4-21 荘銀山形ビル8F

TEL : 023-626-9017 FAX : 023-626-9038

E-mail : kenkyuu@f-ric.co.jp URL : <http://www.f-ric.co.jp/>